



静岡市議会議員

まつや清

発行：まつや清を応援する会 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-3-1 井口ビル 2A TEL:054-209-5677

Mail:chiky_house@yahoo.co.jp

静岡市議会 都市建設委員会 総合交通政策特別委員会所属 静岡市議会 超党派太鼓サークル「葵陣太鼓」事務局長



2022年12月議会 統括質問 有機農業と学校給食

「みどりの食料システム戦略」有機農産地づくりを推進

「曲がったキュウリの時代」を掲げて35年！ オーガニックビレッジをめざしたい！

昨年7月、農水省は、「みどりの食料システム戦略」を掲げ、「2050年までに、有機農業面積を25%に(現行0.4%)、ネオニコチノイドなどの化学農薬50%、化学肥料を30%に削減する」など農業政策の大転換を示しました。地域ぐるみで有機農業に取り組む産地(オーガニックビレッジ)には、財政的支援を行うとしています。こうした政府の方針に、静岡市として2030年までの8年間の農業振興計画にどのように組み入れていくのかを問いました。静岡市の有機農業の経営体数は182、全経営体の6%、取組面積は111ha、全耕地面積の4.6%不足です。(詳細は、農水省資料 <https://bit.ly/3VrUB4t>)

<農林水産統括官 答弁>

次期「農業振興計画」では、「温室効果ガス削減」や「環境保全」に繋がる「環境負荷を低減した農業」を目標に、ソーラーシェアリングを含む再生可能エネルギーの導入支援を盛り込み、成果指標を設定し推進いたします。有機農業に関する意見交換など情報共有ができる場において、農業者同士がつながり、更にネットワークが拡大するよう、市として支援していきます。

尚、有機農業者であり、緑の党の会員として活躍中の大石和央議員(牧之原市)、高橋隆子議員(伊豆の国市)、江本浩二議員(沼津市)の皆様と「有機農業・オーガニック学校給食推進議員ネットワーク」(仮称)を準備中です。ご期待ください。

学校給食への有機農産物使用 供給量・価格などに課題が...

無償化も含め「オーガニック学校給食」を実現しよう！

すでに、学校給食に有機農産物を使用する動きが全国的に始まっています。いすみ市(千葉県)では、学校給食用に有機米を生産者に提案し、今治市では、無農薬野菜や有機米の生産で生じるコストの増額分を市が負担することで導入に努めています。静岡市では、学校給食に有機農産物の使用についてはどのように考えるか質問をしました。

<教育局長> 環境負荷の低減や、地産地消の推進という食育の観点から、有機農産物の使用は有用であるが、有機農産物の流通量は少ないため、学校給食で必要となる納入量を安定して確保することが困難な状況である。また、有機農産物は栽培管理や手間がかかり、収穫量も多くないことから、価格が通常よりも高価となっている。今後は、他都市の事例などを含め、研究を進めていく。

遺伝子組み換え食材、ゲノム食材で流通しているものは、国で管理され、安全性は確保されているものとする。しかし、遺伝子組み換え食品に不安を抱く保護者などへの配慮から、学校給食への使用の実績はない。ゲノム編集食品についても、使用の実績はないが、今後遺伝子組み換え食品同様の対応をするかを検討していく。ゲノム編集された農作物の苗の市内小中学校への無料頒布は実施されていない。

(写真は、OKシードプロジェクト発行 印鑰智哉 日本語訳「ゲノム編集 神話と現実」表紙)



城北から

台風15号被災直後の11月14日

嘉田由紀子参議院議員(元滋賀県知事) 麻機遊水地事業調査活動にまつや同席

嘉田議員は参議院議員として、10月13日に静岡市の被災状況の調査活動に参加されていますが、改めて単独で調査活動のために来訪されました。県知事時代に、「多重防護」の治水対策方針を掲げ、「流域治水条例」を制定されており、その頃より、まつやは嘉田議員と交流してきました。今回の調査活動で「意見交換したい」と連絡をいただきました。調査活動自体は、平山佐知子参議院議員事務所が窓口となり準備されていました。麻機遊水地第一工区緑地公園のセンター長の木下聡さんと一緒に、国政の立場からの問題意識を吸収させていただきました。これからの城北学区、麻機学区、千代田学区など麻機遊水地を含めた治水対策を進めていくうえで力強い味方です。





9月、11月議会 総括質疑 気候危機 台風15号追加予算

気候危機時代 異常気象への備えの準備は？

温暖化 COP27 や生態系 COP15 など

昨年、静岡を襲った台風15号は、1974年「七夕豪雨」に匹敵する被害を及ぼしました。私が在住する城北学区は麻機遊水地事業区域にあり水害常襲地域でもあり、大雨が予想されるたびに見回り活動を続けて来たこともあって、今回の被災については、切実な気持ちで質疑を重ねてきました。

<10月12日 9月議会最終日・追加予算議案質疑>

- ①環境局…数年来の懸案であった災害ゴミの集積場所の決定が遅れた理由
- ②上下水道局…清水区で発生した長期断水の原因の承元寺取水口の土砂除去の遅れ。市長と知事の不仲による自衛隊派遣要請の遅れ等。

<12月6日総括質問 台風15号と防災力について>

①建設局…『想定を越える大雨』だったため被災規模が大きくなった」との言い訳と昨今の気候危機対策としての「想定内」浸水対策計画の遅れとは。

大雨に対する巴川・麻機遊水地の想定貯水量と麻機遊水地の第2期工事の見通しについて。

②危機管理総室…9月26日8:30の第1回災害対策本部開催から27日の自衛隊土砂除去作業までの災害対策本部議事録に基づく時系列の事実確認とそこからの教訓とは。



工場内に流れ込んだ土砂
日本パネル工場株式会社
(静岡市葵区津渡野)

③市民局…災害ボランティアセンター立ち上げの経過、日常訓練内容、財源について。

<12月6日 11月議会台風15号追加予算質疑>

清水区承元寺取水口の安全柵など改修費1億1800万、増水による土砂堆積防止検討予算1000万、清水区の興津川2か所目の新たな取水源など検討予算3000万、いずれも債務負担行為で、2023年は、5月と7月、2024年は、2月で期限がきます。

<12月8日 都市建設委員会 11月議会追加予算質疑>

家屋や工場に、未だ堆積している土砂の撤去や国土交通省が打ち出している「気候変動に適應した治水対策」を静岡市はどのように推進するのかを質問しました。

9月議会 総括質疑 めざす道路空間 統一教会問題

10年かかった街中 江川町交差点横断歩道設置
静岡駅→江川町 ウォーカブルな道路空間を提唱！

10年前に、江川町交差点のスクランブル化に向けた社会実験が実施されましたが、Den bill(旧電電ビル)と日生ビル間の横断歩道は実現しませんでした。「葵歴史のまちグランドデザイン」の公表と歴史博物館グランドオープン、NHK大河ドラマ「どうする家康」の放映を機会に、まつやは、「静岡駅前から江川町交差点へ、そして、歴史博物館・駿府城公園まで歩いて楽しいウォーカブルな道路空間にすべき！」と総括質問をしました。答弁では、江川町交差点のスクランブル化と共に、駿府商店街が要望する駅前の横断歩道敷設など、姫路市が進める街中への一般車両の流入規制をするようなまちづくりに向かう



気運がようやく示されました。まつやが所属する都市建設委員会では、12月19日から2泊3日で、名古屋市、草津市、大阪市を視察しましたが、大阪市での全長4kmにわたる御堂筋道路のウォーカブルなまちづくり推進については大変な刺激を受けました。

旧統一教会 宗教二世への積極的な相談支援を！

LGBT パートナーシップ宣誓制度を尊重しよう！

旧統一教会に関わる県議会議員候補者をチェックしよう！

旧統一教会被災者支援法が成立しました。9月議会では、消費者相談センターに寄せられた霊感商法などの相談や実情を質問すると共に、霊感商法弁護士対策連絡会などの連携を求めました。教会は、夫婦別性や事実婚、LGBTQ など多様な生き方やパートナーシップ制度を容認していません。静岡市の「多様性を認め合う社会」を尊重する姿勢を確認しました。

ウクライナ支援 絵画展を開催 静岡市国際交流課協力

街頭募金にもご協力を！

日程:2/23(祝) 2/25(土)12:00~18:00

場所:静岡駅地下コンコース「エキチカ」

ワルシャワを拠点に、避難民支援活動を展開している坂本龍太郎さん(静大出身)から、ウクライナの子どもたちが描いた絵が送られてきました。



ウクライナや世界の平和を願う多くの方々にご覧いただきたいです。展示会のボランティア、平和の歌と一緒に歌ってくださる方募集中！



主催:ウクライナに平和を！静岡チーム

地球ハウス 054-209-5676 (月・水・金 9:30~16:00)

1月17日文科省に保養事業の要望書を提出

福島子ども支援基金(代表 まつや清)

は2011年3.11の東日本大震災・福島原発事故を忘れることなく、放射能による健康被害が心配される福島県の子どものための保養事業を「わくわくピクニック実行委員会」の一員として活動してきました。被害者への救済が十分でない状況のまま、政府は原発の再稼働・新增設・運転期間60年の延長という暴挙に出てきました。今年も福島の子どもたちに静岡での保養を呼びかけていく予定です。こうした中で、1月17日に国際環境NGO FoE Japanと一緒に保養の権利を求めて文科省に要望書を提出しました。



11月議会 共産党意見書に賛成討論

選択的夫婦別姓についての議論を求める意見書

私自身が戸籍上の名前と議員活動での名前を使い分けていることが賛成討論の第一の理由です。そして12月13日の市議会議員と雙葉高校の学生さんとの意見交換会で選ばれたテーマが「ジェンダー、平等、パートナーシップ宣誓制度」であったことへの驚きや12月定例会で自民党の島直也議員がお子さんの誕生と子育ての中で感じたことを男性として本会議という公の場で積極的に発言されたことへの感動など、時代の変化を強く感じたことが賛成討論の第二の理由です。

一方で、この選択的夫婦別姓制度は1996年の法制審議会の提言から何度もその機会があったにもかかわらず旧統一教会などの右派宗教勢力による自民党へのロビー活動に阻まれてきました。昨年12月に旧統一教会の被害者救済法案が成立したことや自民党との「闇の関係」が明らかになるなど政治的な変化もありますが、残念ながら可決には至りませんでした。

写真で見る
まつや清
活動の
日々



11月9日●静岡商工会北部地区市政報告会



11月20日●ミャンマーの明日を考える会主催 ミャンマー文化紹介イベント



11月26日●第2回掘り出し物フェスタ(旧ゴミゼロ)ボランティア参加



11月26日●静岡新潟県人会主催『雪国シホ』本田副市長講演 新潟と静岡の地政学的分析



12月11日●311を忘れないinしずおか 福島支援 街頭募金活動



1月23日●共通番号制を考える会・静岡 静岡市へ質問書を提出

10年はひと昔か？ ～縁という有難き必然～

まつや清を応援する会事務局 立川斉子さん

昨年3月より、地球ハウスで事務を担当しています。長年従事された藪崎さんから整えられた事務の形を引き継ぎ、支援者の皆さま、スタッフの方々のご助力で、あっという間に無事1年が経ちます。

松谷さんとの出会いは10年前、311の震災瓦礫広域処理に対する市民運動に遡ります。静岡市での試験焼却後、本焼却が始まるという頃、有志が作成し我が家にポスティングされていたチラシに突き動かされ、活動に加わりました。当時息子がまだ五つで、「幼い大切な存在をどうしたら守れるのだろうか？」と、暗澹たる想いを抱えていた中、出会ったのは同じく今まで市民運動とは無縁だった幼い子どものいるお母さんたちが大半でした。



本焼却は数か月の実施後中止となりましたが、その後も土壤汚染による内部被曝など、避け難い課題を抱えたまま、10年後の今、放射性物質の拡散は、汚染水の海洋放出という形で更に進められようとしています。この10年、松谷さんの活動報告や通信、瀬名楽々カフェでの市政報告など、一支持者として興味深く活動を追ってきました。この度こうして仕事としてご縁をいただき中に入って、支援者の方々の様々な活動、情熱と行動力は、松谷さんが激務に挑み続ける原動力にもなっているのではないかと感じています。

● まつや応援する会事務局からのお願い
 応援する会のLINEぜひご登録ください！
 講座やイベント、議会傍聴等の情報を発信しています。
 (LINE ID: @718fsjgm)
 連絡先: 054-209-5677
 (月)・(水)・(金) 9:30~16:00



市民の市民による市民のための静岡市の未来・マニフェストを作りましょう！

静岡市長選挙 3月31日告示 4月9日投票

今回の市長選挙は、現職の田辺市長と対抗する候補者に静岡市の未来創造の舵取りを問う貴重な機会になると期待されていました。

ところが、蓋を開けてみれば、経済界からの元静岡県副知事である難波喬司氏への支持表明、さらには田辺市長の不出馬表明、市議会最大会派である自民党市議団による「市民不在」の政策協定の締結。もう一人の予定候補者とされる自民党所属の県議会議員山田誠氏への「問答無用な」自民党対応と、まさに「勝ち馬に乗る」政局とでもいうべき複雑な展開となっています。その後、立憲民主党、公明党も推薦をしました。

このような市民不在の動きがますます政治不信を広めていくことに大きな危機感を持ちます。新しい市長を選ぶにあたり、「市民不在」、「経済界主導」であるかのように映る市長選挙をただ傍観するだけではなく、「市民の市民による市民のための市民マニフェスト＝市民の政策提言」を立候補予定者に伝え、その実現を迫る市民グループが立ち上がりました。まつや清はこうした市民の皆さんと一緒に静岡の民主主義を強め、静岡市政の変革を求めて共に活動します。

※まつや清を応援する会は、第37回の「きよしとこの夜」に元静岡県副知事の難波喬司さんを特別ゲストにお招きし、お話を伺いました。70名を超える方々から、静岡市政への11の質問が出され丁寧な回答をいただきました。まつや自身は、「南アルプスの自然と大井川の水を守る立場」から難波喬司さんの情報公開と市民・住民に寄り添うその姿勢を評価しています。

台風15号被災対応の責任 市長の期末手当引き上げ まつやだけ反対！

12月議会総括質問、自民党市議団繁田和美代表質問の冒頭で、田辺信宏市長は「市長選挙不出馬表明」をしました。台風15号への被災対応責任にも触れたことにより、12月16日の本会議最終日に48人の議員の中でただ一人「台風15号の被災対応の責任を取る意味で市長の期末手当引き上げを返上すべき」と反対を表明しました。もちろん、自らの議員の期末手当にも反対し引き上げ分は法務省に供託しました。

静岡市議会 2月定例会会議日程

- 会期 2月8日～3月17日 38日間
- 2/8 本会議
- 2/10 補正予算議案質疑
- 2/13 厚生・観光文化経済・都市建設委員会
- 2/14 総務・企業消防・市民環境委員会
- 2/20 補正予算採決、当初予算上程、所信表明
- 2/28、3/1-3/3 総括質問
- 3/7・3/8 総務・企業消防・市民環境委員会
- 3/9・3/10 厚生・観光文化経済・都市建設委員会
- 3/17 本会議



静岡市議会
インターネット配信

まつや清プロフィール

1951年 新潟県柏崎市生れ 静岡大学工学部中退
 1987年 静岡市議会議員(3期)、静岡県議会議員(1期)、
 国会議員政策秘書を経て、2009年より静岡市議会議員(4期)

イベント・インフォメーション

- 2月28日(火)19:30~21:00
 地球ハウス学校(オンライン勉強会)
 ※テーマは、調整中
- 3月11日(土)12:00~15:00
 福島の子もたちを支援する
 街頭募金活動
 「福島原発事故から12年目の3.11」
 場所: 静岡駅北口「エキチカ」
 主催: 3.11を忘れない in 静岡
- 3月21日(祝・火)13:00~15:00
 紙の健康保険証の存続を求める学習・討論会
 場所: 労政会館 5階 (参加費無料・予約不要)
 主催: 共通番号制度を考える市民の会/実行委員会
 問合せ先: 054-209-5676 地球ハウス
 (月)・(水)・(金) 9:30~16:00



まつや清 HP
イベントページ